

# Programming II 0x01



授業ガイダンス(2011.04.14)

塩澤秀和 <http://vilab.org>

# 授業の内容

---

## □ プログラミング I

- 変数
- 制御構造
- 関数

## □ プログラミング II

- (プログラミング I の復習)
- 配列
- ポインタ
- 構造体

# プログラミング学習の心構え

---

## □ コンピュータ言語の勉強法

- 英語のように... 繰り返し練習して覚える
- 数学のように... 順々に論理的に考える
- この**両方がそれなりに必要**

## □ 授業以外の時間にも自分で練習する

- 1単位 = 1時間の授業 + 2時間の予習・復習

## □ ただの暗記ではできるようにならない

- 1文字でも間違えると動かないので、暗記には限界
- なぜそうなるのか、“**筋道**”を**追って**考えるクセをつける

# ソースコードは見やすく！

## □ 上達の近道

- すっきり統一した書式で書く
- 単語や記号の区切りで、適当にスペースを入れる
- 改行を入れて、関連する行のまとまりが分かるようにする

## □ インデント(字下げ)

- ブロック {} に入るたびに、行頭を1段ずつ下げる
- 下げ幅は、4文字が一般的
- インデントの手動調整キー  
Tab, Shift+Tab, Backspace
- メニュー→[編集]→[詳細]  
→[選択範囲のフォーマット]

## □ 流派はいろいろ

主流派

```
if (x > 0) {
    y = y + x;
}
printf("%f\n", y);
```

```
if (x > 0)
{
    y = y + x;
}
printf("%f\n", y);
```

```
if (x > 0)
{
    y = y + x;
}
printf ("%f\n", y);
```

# コンパイルエラーについて

---

- エラーと警告
  - エラー(error): 文法などの間違いで、コンパイル、実行できない
  - 警告(warning): 何とかコンパイルはできるが、多分間違っている
  
- エラーや警告が出たら...
  - 必ずよく読んで、「エラー」や「警告」がゼロになるようになおす
  - エラーメッセージをダブルクリックすると、発生した行に飛ぶ
  - その行だけでなく、前後の行もよーく見て間違いを探すこと
  
- scanfで警告が出ないようにする
  - 環境変数 CL に /D\_CRT\_SECURE\_NO\_WARNINGS を設定
    1. Webブラウザで [http://vilab.org/c1\\_2010/](http://vilab.org/c1_2010/) にアクセス
    2. set\_cl\_options.wsf を右クリックして、「保存」
    3. 保存した set\_cl\_options.wsf をダブルクリックして実行する

# フローチャート(流れ図)の基礎

